

[専門教育科目/看護の展開/精神看護学]

科目名	ナンバリング	区分(必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
精神看護学概論	NSP21_003	必修	1	2	前期
担当教員	研究室	電子メール ID	オフィスアワー		
石野 徳子	415	t.ishino	火・木曜日 16:00~17:30		
授業の目的・概要	<p>平成 26 年度より、精神疾患は「5 大疾患」の 1 位を占めるに至り、精神看護の対象者は増加している。本概論では、精神看護の対象を理解し、それに対する対応を理解することや、わが国における精神医療の歴史、精神看護に関わる法律の変遷と倫理などについて理解することを目的とする。授業の概要として、精神看護の定義、人生各期における発達と危機、精神看護実践の基盤の考え方や態度を育むため、人間関係の看護理論について講義する。また、現在社会における精神保健上の諸問題について、遠隔授業を通じ実施する。</p>				
学習上の助言	各自が受講した内容を振り返り、理解を深めると共に、不十分な点については、その都度、質問すること。また、各自が与えられた課題について、教科書、参考文献などを活用し組むことが望ましい。				
教科書	・系統看護学講座 専門分野Ⅱ 精神看護の基礎 / 著:武井麻子 / 医学書院 / 2017 第 5 版 ・系統看護学講座 専門分野Ⅱ 精神看護の展開 / 著:武井麻子 / 医学書院 / 2017 第 5 版 [2 冊指定]				
参考書	精神看護学 I 精神保健学 / 吉松 和也、小泉 典章、川野 雅資 / ノーヴェルヒロカワ/2015 第 6 版				
学生が達成すべき行動目標			関連卒業認定・学位授与方針		
①	精神看護の対象について説明できる。		NS(5)		
②	人生各期における発達段階、危機について説明できる。		NS(1)(4)		
③	生活の場における精神保健上の問題の背景、要因などについてグループで検討し、考えを発表できる。		NS(1)(4)		
④	精神医療の歴史の変遷を踏まえ、我が国の精神障害者の処遇について説明できる。		NS(1)		
⑤	精神看護に関わる倫理・法律について説明できる。		NS(1)(5)		
⑥	人間関係の看護論(ペプロウ)について説明できる。		NS(1)(5)		
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業方法	学習課題・学習時間 (時間)		
1	ガイダンス、精神看護学の基本的な考え方、日本の精神科医療の現状等について学習する。 フィードバック：課題返却で実施 意見交換の機会：授業時間内に実施	印刷教材等での授業	課題①：他国と比較した日本の精神医療の特徴について述べる。	4	
2	エリクソンの漸成的発達理論について学習する。 フィードバック：課題返却で実施 意見交換の機会：授業時間内に実施	印刷教材等での授業	課題②：人間の発達段階の中で、関心のある発達段階について述べる。 事前課題：教科書① p 78～87 を読んでおくこと	4	
3	フロイトの精神力動理論について学習する。 フィードバック：課題返却で実施 意見交換の機会：授業時間内に実施	印刷教材等での授業	復習：授業中に質問した内容に答える。 事前課題：教科書① p 38～45 を読んでおくこと。	4	
4	ストレス、精神保健上における「危機」について学習する。 フィードバック：課題返却で実施 意見交換の機会：授業時間内に実施	印刷教材等での授業	復習：授業中に質問した内容に答える。 事前課題：教科書② p 323～334 を読んでおくこと。	4	
5	家庭・学校・職場における精神保健上の問題について学習する。 フィードバック：課題返却で実施 意見交換の機会：授業時間内に実施	印刷教材等での授業	課題③：家庭、学校、職場の精神保健上の問題の中から関心の高い問題について述べる。	4	
6	日本における精神医療の歴史の変遷、人権擁護に関する動きなどに関連する内容について学習する。 フィードバック：課題返却で実施 意見交換の機会：授業時間内に実施	印刷教材等での授業	復習：授業中に質問した内容に答える。 事前学習：教科書① p 315～p 340 を読んでおくこと	4	
7	精神保健福祉法における入院形態、障害者の生活を支えるための法律と制度など、精神障害者に関する法律などについて学習する。 フィードバック：課題返却で実施 意見交換の機会：授業時間内に実施	印刷教材等での授業	課題④：精神障害者を支える諸法律の中から、関心を持った法律について概要を述べる。	4	
8	講義 8 回目までのまとめを行う。	印刷教材等での授業	課題⑤：精神看護学の講義を受講して感じたことを述べる。	2	
試	レポート 達成度評価、評価のポイント参照				

[専門教育科目/看護の展開/精神看護学]

総合評価割合 (%)		達成度評価					合計
		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	
		0	80	0	0	20	100
総合力指標	知識・技術力	0	20	0	0	0	20
	思考・推論・創造する力	0	20	0	0	0	20
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0
	発表・表現伝達する力	0	20	0	0	0	20
	コミュニケーション力	0	0	0	0	0	0
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	20	20
問題を発見・解決する力		0	20	0	0	0	20
評価のポイント							フィードバックの方法
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点					
試験	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
レポート	①	✓	講義の際に、課題レポートのテーマについて説明する。記載内容については、テーマに添った内容が記載されているか。決められた文字数を守っているか。誤字・脱字、参考文献の使用の有無、などをふまえて評価する。なお、これらの注意点については、レポート課題に取り組みにあたり、事前に説明するようにしている。				
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
	⑤	✓					
	⑥						
成果発表	①		各自より提出されたレポートの内容を確認し、気づいた注意点について、その都度、講義の際に説明する。必要に応じて、個人に指導する。				
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
ポートフォリオ	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
その他	①	✓	毎回の講義で質問を出し、質問への回答の提出により、学生の理解度や質問内容などを理解した上で、講義に活用している。また、提出日時を守っているか確認し評価の視点に加えている。				
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
	⑤	✓					
	⑥						
備 考							
<p>教員の実務経験： 看護管理者として一般病院および精神科病院において長年にわたり従事していた経験を有する。 実践的授業の内容： これまでに培った臨床経験を講義の場で活かすように、事例を取り入れることや病院で経験したことなどを伝え、学生がよりリアリティを感じ理解を深められるように工夫をしながら講義を行う。</p> <p>・今後の新型コロナウイルス感染症の状況など社会情勢によって再度シラバスの変更がある。</p>							